

薬局通信

はあむにの

No.17

2001年
9月

(有)静岡健康企画	ことぶき薬局	TEL 0559(77)6024	FAX 0559(77)0890
	たまち薬局	054(251)1678	054(251)1685
	ひまわり薬局	053(463)4312	053(460)4612

21世紀を迎えたいま、核兵器をなくそうという声の世界を動かしています。昨年5月には、核保有国を含め世界187の国々が「核兵器廃絶を達成する」ことに合意し、秋の国連総会でも確認されました。

ところが、アメリカ大統領は今年5月、ミサイル防衛構想の推進を明言しました。他国のミサイルをアメリカのミサイルで打ち落とす計画です。すでに実験を進めています。また、唯一の被爆国である日本の政府もアメリカの理論を受け入れ、世界の流れに逆行する態度をとっています。このアメリカの態度には、欧州諸国やロシア、中国から猛烈な反対の声があがっています。

8月3日から9日、広島・長崎で原水爆禁止2001年世界大会が開催されました。広島・長崎の被爆者、世界各地での核兵器実験・開発による被爆者、反核・平和のため、ともに努力してきた世界と日本人々、さらに非核国のグループである「新アジェンダ」諸国や非同盟諸国の政府代表、非核宣言自治体の代表などが広くつどい、対話・協力・連帯を深める場となったでしょう。

56年前の1945年8月6日広島、9日長崎に人類最初の原子爆弾が投下されました。爆心から1キロ以内の8～9割の人々は死亡し、逃げのびた人や救助にかけつけた人も急性放射線障害で次々倒れ、その年の末までに広島でおよそ14万人、長崎では7万人が生命を奪われました。被爆者は、半世紀以上たった現在でも原爆症による死の恐怖とたたかっています。

またアメリカなど核保有国は、この半世紀の間に2000回をこえる核実験を繰り返しておこなってきました。核実験場にされた国の人々をはじめ、アメリカや旧ソ連のように核保有国自身の国民もウラン採鉱、核兵器開発、核実験などによる被害を受けました。これら世界の被爆者は、数百万人ともいわれています。

核兵器のない平和な世界が一日も早く実現されることを願い、核兵器廃絶を求める声を高めていきたいものです。

原子力関連機関で大事故が万一起こると、放射性物質であるヨウ素 131 が大気中に拡散する危険があります。ヨウ素 131 は甲状腺に取り込まれ、様々な甲状腺障害(甲状腺機能低下症、甲状腺ガン)を引き起こします。

静岡には浜岡原子力発電所があります。もし、東海大震災が起きて、放射能漏れが起きれば大変なことになります。それを予防できる薬が「ヨウ素剤」です。正式名称をヨウ化カリウム丸といいます。

原子力発電所等の事故で、放射性ヨウ素(ヨウ素 131)が空気中に放出されると、通常のヨウ素(非放射性ヨウ素)のかわりに、その放射性ヨウ素が体内に取り込まれ、甲状腺(のどの辺り)に蓄積してしまいます。すると、甲状腺から常に放射線がでていくことになり、甲状腺ガンなどを引き起こします。放射性ヨウ素が、甲状腺に取り込まれる前にヨウ素剤を飲んでおくと、甲状腺が非放射性ヨウ素でいっぱいになり、放射性ヨウ素が蓄積するのを防ぐことができます。

服用法は、事故がわかっただけ早く、1 歳以上成人まで一回2錠、一歳未満は一回 1 錠、状況により 24 時間ごとに服用し、最大でも 20 錠(10 日間)までにして下さい。また、ヨウ素に過敏な方、肺結核の方は飲むのを避けてください。甲状腺障害、腎障害のある方、カリウムの高い方、血圧の薬や利尿薬、カリウムを高くする薬、抗操うつ薬を飲んでおられる方は、あらかじめかかりつけの医師にご相談ください。

尚、このヨウ素剤を静岡市のたまち薬局にて、20 錠で 300 円にて販売しておりますので必要な方はご連絡ください。

たまち薬局

〒420-0068 静岡県静岡市田町 5 丁目 95

電話 054-251-1678(受付時間 午後 1 時～4 時)

FAX 054-251-1685(できればFAXにてお願いします)



全国の医療機関から発行された処方箋の保険調剤をいたします。

お薬の事なら何でもご相談ください。